

楽に行ける奥秩父山塊の最高峰はどうですか
国師ヶ岳・北奥千丈岳・(朝日岳)

実施日 2020年10月4日(日)
 天候 曇り後晴れ
 リーダー 白石 恵美子
 参加者 白石恵美子、石附智江、伊藤久雄、瀧澤きよの 計4名
 費用 電車 2,332円(新宿駅起算)
 バス+タクシー 4,000円
 タイム 塩山駅(8:14~8:30)柳平乗換(9:20)大弛峠(9:55~10:00)国師ヶ岳(10:50~11:05)北奥千丈岳(11:12~11:22)大弛峠(11:55~12:09)朝日峠(12:49~12:53)朝日岳(13:25~14:04)朝日峠(14:29~14:33)大弛峠(15:08~15:45)塩山駅(16:55)

一日中曇りの予報だったので、行っても何も見えないだろうと、実はあまり期待していなかったのだが、現地に着いたら、予想外にいい天気だったのは嬉しい誤算だ。ただ、コースタイムを計算すると、かなり急がないと4時のバスにギリギリになりそうなので、休憩は極短めにしようとする。往きの電車内で



話を合はう。まずは国師ヶ岳に向かう。木道が整備されているので、歩きやすく、高度を稼げるが歩幅と合わないのが玉に瑕。花は咲いていないが両側にはシャクナゲの木が並ぶ。

話し合う。

まずは国師ヶ岳に向かう。木道が整備されているので、歩きやすく、高度を稼げるが歩幅と合わないのが玉に瑕。花は咲いていないが両側にはシャクナゲの木が並ぶ。



7月上旬から中旬が見頃のようなので、その頃にまた来るのもいいかも。途中の道からも

国師ヶ岳の山頂からも富士山がその姿を見せてくれ、感激。

国師ヶ岳から7分で奥秩父の最高点である北奥千丈岳に着く。

金峰山の五丈岩がカッコいい！そこから大弛峠に戻る手前で夢の庭園に寄る予定だったが、時間の都合でパスする。



出発点の大弛峠に戻り、反対方向の朝日岳に向かう。

こちらの道は国師ヶ岳への道と打って変わって、木段はなく、如何にも山らしい道だ。やはり、こういう道の方が山に登っているという実感が沸く。



紅葉も始まっており、ナナカマドが黄色く色づいている。黄色いナナカマドは見たことがないので、ちょっと不思議だ。

登山道の脇の苔も美しく、なんとなく北八ツと似ているねと話しながら進む。朝日峠を過ぎ、朝日岳までの途中富士山の見える絶景ポイントがある。



やがて朝日岳に着く。五丈岩を愛しながら、昼食を取るか、金峰山に向かう方角を見下ろすと、緑の中に点々と真っ赤な紅葉が美しい。

と真っ赤な紅葉が美しい。

昼食を済ませ、五丈岩に別れを告げ、ガレ場を慎重に下る。朝日峠を経て大弛峠に戻ってきた。



参加してくださった皆さん、お疲れ様でした。また、一緒に歩きましょう！

(記：白石恵美子)
 (写真提供・伊藤 久雄)